

事業所における自己評価結果

公表:令和 6 年 3 月 28 日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス羽ばたき

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			訓練室面積が57.4m ² あり、定員基準以上満たしている	継続して実施
	②	職員の配置数は適切である	4	1		現状の利用者数に対して適切である	今後、更に人員を増加する
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			玄関から訓練室、トイレ、その他施設内は全てバリアフリー化を実施	継続して実施
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1		毎日朝礼を実施し、その他適宜会議を開催し、目標設定、振り返り等を行っている	議事録を保存し、何時でも職員が閲覧出来るようにする
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		今回が初めての自己評価になる為、実施していない	職員と評価について共有し、会議等を踏まえ改善すべき点を実行する
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		2	1	今回が初めての自己評価になる為、実施していない	今回より、ホームページに公開します
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			2	現在、実施していません	今後、検討していく
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			職員の児発管研修費用等負担しています。また、外部研修も実施	外部より講師を招いての研修等も検討
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			保護者様と電話にて度々連絡を取り合い、その都度情報等を聞き取っている	今後の面談回数を増やし、より良い療育を行える様にする
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			脳パラソーキッズ等の活用により、個人の詳細なファイルを作成し支援を行っている	対象者別の全体会議を行い、その都度支援を見直す。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			季節ごとにイベント等を職員全体で考え実行している	イベント等、今後増やしていきたい
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		外部よりヨガ講師等も招聘し、活動プログラムを行っている	ヨガのみならず、今後は他の分野の講師の招聘を検討
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	3	1	個人の療育進歩状況を鑑みて、その都度適切な支援を実施している	対人関係等の改善に向け、グループ活動を今以上に行いたい
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		現状を踏まえ、一人一人にあつた個別、集団活動を計画している	集団活動の大切さを今以上に伝えていく
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	5			毎日朝礼にてその日の支援内容、役割分担、注意点を確認している	継続して実施
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1		2	個々に問題点を記載している	個々に記載した問題点を、終了時に話し合う時間を作っていく
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		ケース記録・業務日誌等の記載をし、職員全員が確認している	継続して実施

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑯	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			保護者様との時間をなるべく設け、問題点を掘り下げ、サービス計画の見直しを行っている	今後も継続していく
	⑰	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	1	1		ガイドラインに沿った支援を基本に行っている	今後も継続していく
	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	2		施設長が対応している	職員の専門知識を向上させて、今後対応できる者を増やす
	⑲	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5			施設長が対応している	他の職員等も対応できるように業務内容共有を目指す
	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			2	実施していません	実施していません
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			施設長・児発管が対応している	他の職員も情報共有できるよう努める
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2	1	実績がありません	実績がありません
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2		連携はしているが、研修等は受けていない	今後、研修等を受けたい
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			3	現在はありません	今後、機会をつくりたい
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	1		スケジュールを調整して参加している	今後も出来る限り参加したい
保護	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			施設長初め、その他の職員が電話・送迎時に報告し、状況や課題に対して共通理解を持っている	今後も継続していく
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2		主に、施設長が行っている	今後も継続していく
	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約時だけではなく、適宜説明を行っている	利用者様に理解して頂けるよう、丁寧に説明する
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			いつでも施設長・児発管が相談に応じ、助言・支援を行っている	今後も継続していく
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	2	現在実績がありません	今後、実施していきたい

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	③₃	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3			現在まで苦情はありませんが、対応の体制と整備は行っています	迅速かつ適切に対応する
	④₄	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		1	行事予定・連絡事項等の情報を児童・保護者に対して渡している	連絡漏れがないよう、システムの構築を確立する
	⑤₅	個人情報に十分注意している	4			書類などは、鍵付きロッカーにて保管している	職員に対しても再度守秘義務の重要性を指導する
	⑥₆	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			個々の特性に合わせ、情報伝達方法を模索し実施している	色々な方法を職員間で考察し、実践していきたい
	⑦₇	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			2	現在、実績がありません	今後、実施していきたい
非常時等の対応	⑧₈	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3			定期的に職員間で意識共有している	今後も継続していく
	⑨₉	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1		1	本格的な訓練等は行っておりません	今後、避難訓練等の実施をする予定
	⑩₊	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3			研修を行うと共に、行動のみならず言葉遣いにおいても注意するよう徹底している	今後も継続していく
	⑪₋	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		2		職員には通達し、放課後等デイサービス計画に記載をしている	現在該当者が存在しないが、職員間で知識を深めたい
	⑫₌	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			3	保護者様からアレルギーについて十分な聞き取りを行い、適切に対応している(医師の指示書なし)	見落としの無いように、細心の注意を払い、職員間でしっかりと情報共有していく
	⑬₍	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1		施設長を中心とし、職員に対して些細な事でも報告し、又記載している	大きな事故に繋がらないよう、職員が意識を高く持つて取り組む

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。